

令和5（2023）年2月10日

令和4年度
高等学校段階の病気療養中等の生徒に対する
ICTを活用した遠隔教育の調査研究事業
成果報告会

栃木県教育委員会事務局
特別支援教育室

1) 本県における入院高校生支援の方向性

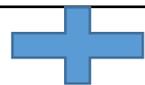
高等学校を軸とした支援体制の構築

- 友人や教員とのつながりを保ちながら学習することにより、治療に前向きになれる
- 在籍高校が主体となって支援をすることで、生徒の実態に応じた指導をしやすい



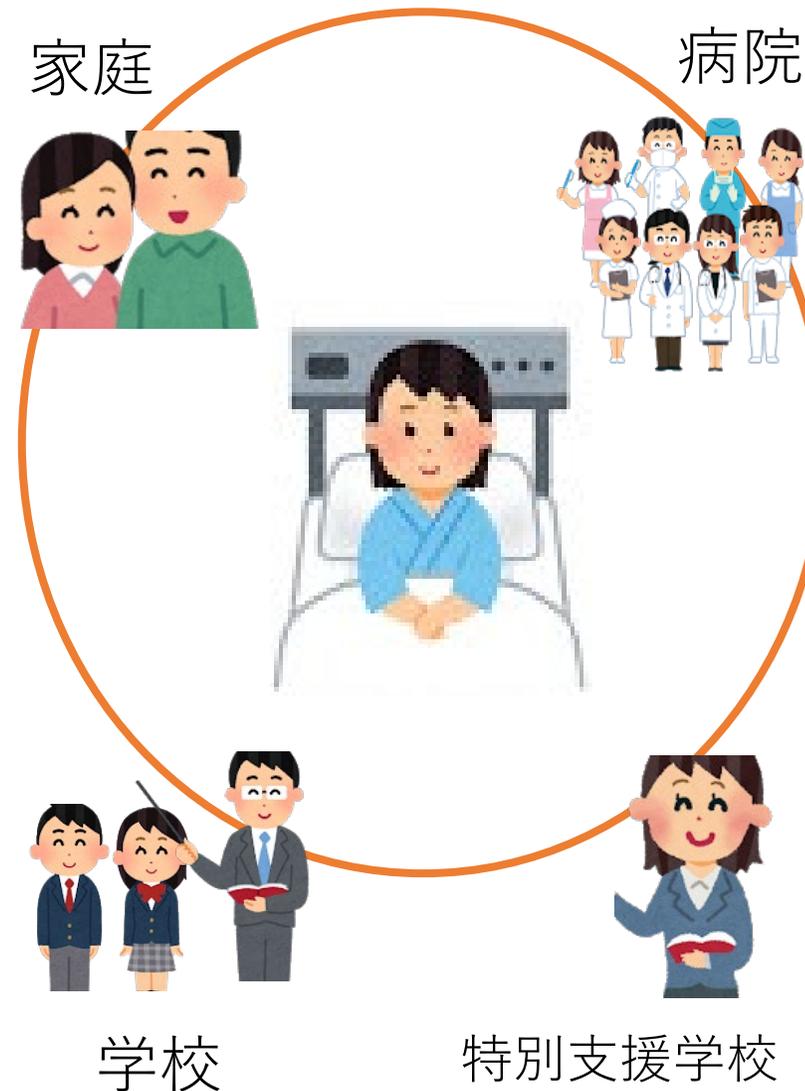
高等学校教員による生徒への学習支援

(課題提供・面接指導実施・学習状況確認・提出課題評価等)



特別支援学校分教室センター的機能の活用

- 入院高校生への自主学習への支援
- 在籍高等学校との連絡調整



2) 令和3年度の取組

入院高校生への教育支援体制**充実**事業（令和3年度～）

■趣旨

高等学校段階の病気療養中の生徒に対する教育支援の充実に資するため、高等学校、特別支援学校及び病院との連携による支援体制を強化するとともに、ICTを活用した遠隔教育や退院時の情報共有等の効果的な実施に向け、調査研究を行う。

■取組内容

- <取組1> 県内のがん診療連携拠点病院等を対象とした病気療養中等の生徒の教育機会や復学支援に関する実態調査の実施
- <取組2> 2つの大学病院に入院する生徒へのICTを活用した遠隔教育の充実
- <取組3> 2つの大学病院以外の病院に入院する生徒や自宅療養中等の生徒へのICTを活用した遠隔教育の充実

3) これまでの支援状況と令和3年度 of 取組から見た課題

入院高校生への教育支援体制整備事業 (H30～R2年度)

入院高校生への教育支援体制充実事業 (R3年度～)

■ H30～R3 教育支援の実績

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	合計
自治医科大学附属病院	4	6	12	4	26
獨協医科大学病院	1	3	3	1	8
合計	5	9	15	5	34

■ 課題

- ① 高等学校、医療機関への更なる理解啓発
- ② 特別支援学校のセンター的機能の活用を通じた教育支援の充実

4) 令和4年度の3つの取組

〈取組①〉 高校への理解啓発

- ・ 特別支援教育コーディネーター連絡協議会等の機会を活用し、高等学校への理解啓発

〈取組②〉 自宅療養中の生徒への教育支援

- ・ ICT機器を活用した教育支援の実施

〈取組③〉 病院訪問による事業周知・協力依頼

- ・ R3にアンケートを実施した8病院への訪問

4) 令和4年度の取組① 高校への理解啓発

○高校への理解啓発

<事業説明・事例紹介>

- ・ 県立学校養護教諭研修会

対象：県立高等学校・特別支援学校 養護教諭

- ・ 県立学校校長会・教頭会

対象：県立高等学校・特別支援学校 校長、教頭

<実践報告>

- ・ 高等学校特別支援教育コーディネーター連絡協議会

対象：特別支援教育コーディネーター 67名

→各校で全教職員を対象に伝達研修会を実施（高校への理解促進）

分教室教員による実践報告「入院中の高校生への教育支援の実際」

- ・ 教育支援事例の紹介
- ・ Kubiのデモンストレーション

⇒<取組2>自宅療養中の生徒への教育支援へ

4) 令和4年度の取組② 自宅療養中の生徒への教育支援

自宅療養中の生徒（高2）への教育支援の事例

退院後、自宅療養が必要な生徒への教育支援にKubiを活用

- ・ 特別支援教育コーディネーター連絡協議会でのKubiの紹介
→ 特別支援学校のセンター的機能による学校支援
（機材の貸し出し、助言等）
- ・ 校内委員会を中心に校内体制での支援
→ オンライン授業の実施
実技教科はレポート等で対応

3) 令和4年度の取組② 自宅療養中の生徒への教育支援

<関係者の感想から抜粋>

	成果	課題
生徒・保護者	<ul style="list-style-type: none">・自宅療養中も、PCを通してオンラインで授業を受けられて良かった。・授業をみんなと受けられてうれしい。	<ul style="list-style-type: none">・ネット環境が不安定なことがあり、通信が途切れてしまうことがあった。
高校	<ul style="list-style-type: none">・Kubiの活用により、授業以外の場面で当該生徒と教室の生徒のやり取りがあった。・授業中も「一人で学習しているわけではない」という一体感が得られていた。	<ul style="list-style-type: none">・集会等への参加も実施したが、様々な場面でのより良い活用についてさらに検討する必要がある。

4) 令和4年度の取組③ 病院訪問による事業周知・協力依頼

R3の取組 病院へのアンケート調査

【R3実施・がん診療連携拠点病院へのアンケート結果の概要】

○アンケートを実施した病院

- ・ 栃木県立がんセンター
- ・ 上都賀総合病院
- ・ 足利赤十字病院
- ・ 済生会宇都宮病院
- ・ 佐野厚生総合病院
- ・ 自治医科大学病院
- ・ 那須赤十字病院
- ・ 芳賀赤十字病院

○教育支援の環境について

- ・ 在籍校教員の対面授業を受けたり、相談したりする場所の提供が可能 8 / 8 病院
- ・ 遠隔授業を実施可能 5 / 8 病院
 - 遠隔授業を受ける場合、Wi-Fiの接続ができる 3 / 5 病院
 - 遠隔授業を受ける場所がある 5 / 5 病院
- ・ 遠隔授業を受ける場所として挙げられた場所
…個室病室、相談室、会議室、面談室等

4) 令和4年度の取組③ 病院訪問による事業周知・協力依頼

R4の取組 アンケート協力病院への訪問

○訪問時の病院の窓口（応対者）

- ・看護師
- ・ソーシャルワーカー
- ・医師（小児科担当）

○病院からの意見・課題等

- ・入院中であっても生徒の学びたい気持ちを尊重することは大切である。
- ・Wi-Fiの整備や個室確保などのハード面の対応は難しいが、可能な限り対応する。
- ・感染症対応の面から、高校の教員による訪問指導は当面難しい。
- ・高校からの教育支援の申し出により、対応を検討する。
- ・公立・私立の区別なく教育支援が行われるよう教育委員会から高校への呼びかけ強化が必要である。
- ・急性期の患者が多い。実際に長期入院の事例がある病院を洗い出し、周知する必要がある。

5) 今年度の入院生徒への支援状況

入院生徒に対する教育支援の実施状況 (R4.12.1現在)

	事例① (県内公立)	事例② (県内私立)	事例③ (県内公立通信制)	事例④ (県内私立)	事例⑤ (県外私立)
学年	高1	高1	高3	高1	高2
入院期間	1ヶ月半	1ヶ月	5ヶ月	3か月	8か月
遠隔教育の内容	遠隔授業 遠隔面談	—	遠隔授業	—	遠隔授業
分教室教員	○	○	○	○	○
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期テストの実施 ・ 自主学習の場の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自主学習の場の提供 ・ 学習状況の確認 	【現在支援中】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期テストの実施 ・ 単位修得にかかる課題実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自主学習の場の提供 (休学中の生徒への支援) 	昨年度も支援

テスト実施や学習評価における課題

- ・ 日程を組む難しさ
- ・ 実技教科への対応方法

6) 課題及び今後の方策

① 高校や医療機関との連携強化

- ・ 学びの保障、単位認定に関する情報提供
- ・ 高校へ支援事例の周知
- ・ 医療機関への周知（生徒の入院状況を踏まえた周知）

② 遠隔授業の促進

- ・ 入院短期化に伴う円滑な支援開始の必要性
- ・ 好事例の周知